



VOL.26 レンタカーと カーシェアリングの違い

最近では町中でカーシェアリングの看板を目にします。車を借りる方法ということは何となくわかるのですが、レンタカーとはどう違うのでしょうか？

このコーナーではクルマに関する
為になる雑学をご紹介します。
意外と知らないことがあるかも!?



1 カーシェアリングとは？

カーシェアリングとは、会員登録するだけで無人のカーステーションにある自動車を、会員間で共同で使えるサービスです。



↑ 町中で見かけられるようになったカーシェアリング。ちょっとだけ出かけた方や、一日あたりのクルマの使用時間が少ない人にはオススメ。

レンタカーの場合はレンタルする時間が長く、最低6時間～となっているところもあります。しかしカーシェアリングは短時間での利用が可能で、業者によっては15分単位で価格設定されているところもあり、短時間の送り迎えや買い物などに利用することができます。カーステーションの場所は、コインパーキングやマンション、コンビニの駐車場、駅などにあったりと各社様々。スマホやパソコンで予約をして、24時間いつでも利用することができます。使用後は元のステーションへ戻し、ダッシュボードの中などにキーを返すだけ。全国にあるカーステーションの車を利用できるサービスもあるので、出張先や旅先でも簡単に車を利用できるのも特徴です。

2 カーシェアリングのメリット

カーシェアリングのメリットの一つは、「使った分だけ支払えばOK」という無駄のない料金体系。マイカーでは当たり前の、車検・保険・税金・ガソリン代まで、全て料金に組み込まれているのです。レンタカーの場合、ガソリンを満タンにして返却する必要がありますが、カーシェアリングはガソリン代込みで利用することができますので、乗ってそのまま返却できます。ガソリンが必要になった時には車内にあるクレジットカードを使用して給油することができます。



また、レンタカーの場合、営業所の営業時間が終了していると一泊分の料金が発生します。早朝に利用したい場合、前日に手続きをして車をどこかに保管しておかなければならず、駐車場が必要になります。カーシェアリングならば24時間営業所を通さずに利用が可能ですので、駐車場を確保する必要がありません。



3 カーシェアリングのデメリット

カーシェアリングにはレンタカーと比べてデメリットもあります。

まず、レンタカーは予めその都度営業所を通して予約をするので、当日車両がないということはありません。しかしカーシェアリングは数人で一台の自動車を共有するというシステムですので、会員登録してあるからと急に予約を入れても車両が使用されている可能性もあります。

また、レンタカーならば一人が使用する度に営業所のスタッフが車内を掃除してくれたり、整備をチェックしてくれますが、カーシェアリングの場合前の人で使用していたそのままの車両を使用することになります。基本的に車内は禁煙ですが、ゴミが残っていたり、シートに汚れが付いている場合もあります。神経質な人はカーシェアリングは向いていないと言えるでしょう。